

お手入れ (1)

汚れたら、すぐに！が、お手入れ上手のポイント



注意



必ず電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからおこなう
【感電・やけど・けがの原因】

- お願い**
- 次のものは使わないでください。(傷付き・変色・サビ・故障の原因)
シンナー、ベンジン、アルコール、オープนครリーナー、粉末クレンザー、
漂白剤、住宅用・家具用・換気扇用合成洗剤、酸性・アルカリ性洗剤、
スプレー式洗剤、金属タワシ、かためのスポンジ
 - お手入れ後は、焼き網やパンくずトレイを確実にセットしてください。
 - 焼き網に無理な力を加えないでください。(破損の原因)

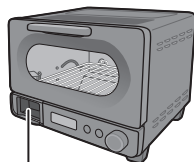
本体・庫内

固く絞ったふきんで水拭きをする

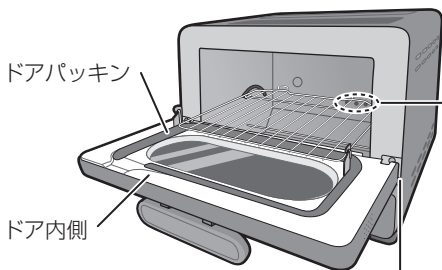
汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用合成洗剤(中性)を使い、最後に水拭きをします。

ドア内側に付いた汚れは、こまめにお手入れしてください。

水タンク収納箇所に水滴が付くことがあります。拭き取ってください。

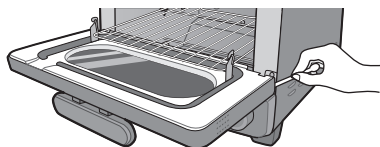


水タンク収納箇所



ご使用にともない、過熱水蒸気吹き出し口の下に水跡が残ることがあります。
仕上がりに影響はありませんが、気になる場合は、庫内が冷めてからお手入れしてください。

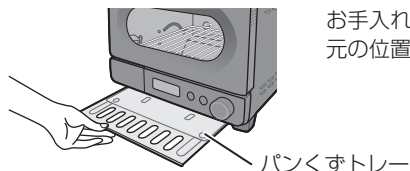
ドアと本体のすき間に落ちたパンくずなどは、ドアを開けて、綿棒などのやわらかい細い棒を使って、お手入れしてください。
(鋭利なものやかたいものを使うと傷付くおそれあり)



- ご注意**
- ヒーターには触れない。(割れるおそれ)
 - ドアパッキンは、無理に引っ張らないでください。

パンくずトレイ

ゆっくり引き出して、パンくずなどを捨て、やわらかいスポンジを使い、薄めた台所用合成洗剤(中性)で洗い、よく乾かす



お手入れ後、「UE TOP」と表示しているほうを上にして元の位置に奥まで差し込みます。

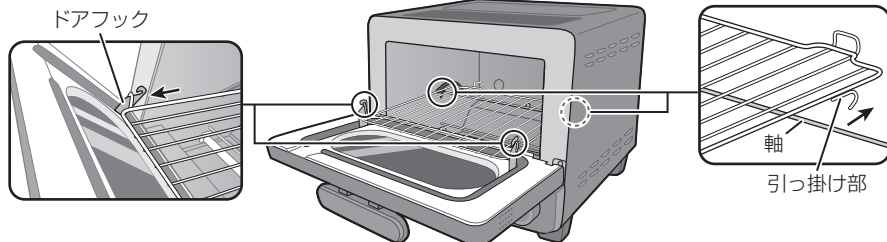
焼き網

取りはずして、やわらかいスポンジを使い、薄めた台所用合成洗剤(中性)で洗い、よく乾かす

●取りはずしかた

- ① 開けたドアを少し戻し、
焼き網を手前に引き、
ドアフックからはずします。

- ② 焼き網を奥に押して、
軸から焼き網の引っ掛け部を
はずします。

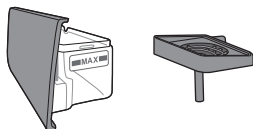


●取り付けかた

- ① ドアを開け、焼き網の引っ掛け部を軸に引っ掛けます。
② 焼き網を手前に引っ張りながら、ドアを少し戻して、ドアフックに引っ掛けます。
必ず、ドアフックにかかっていることを確認してください。

水タンク

やわらかいスポンジを使い、薄めた台所用合成洗剤(中性)で洗い、よく乾かす

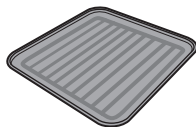


水洗いだけでは、水あか、ぬめりが付着します。
フタは取りはずすことができます。取りはずしてお手入れした場合は、お手入れ後、必ず正しい位置に戻してください。

お手入れ (2)

トレイ

調理後、やわらかいスポンジを使い、台所用合成洗剤(中性)で洗って、よく乾かす



コーティング加工は、ご使用にともない消耗します。

- 汚れたまま放置しておくと、汚れが焼き付き、取れにくくなります。
- 汚れが完全に落ちない場合でも、仕上がりに影響はありません。

水抜きのかた

製品内部の給水パイプに残っている水を高温で加熱し、蒸発させます。

準備

- ① 電源プラグを差し込む (表示が点灯します)
- ② 水タンクを取り出す

- 庫内には何も入れません。
- 水タンクが入っていると、エラー表示が出て水抜きの操作ができません。

1 [水抜き]を選んで、スタートする



2 終了音が鳴ると、水抜き完了

加熱中・加熱後は、

- 本体がかなり熱くなっています。やけどにご注意ください。

清潔に長くお使いいただくために、1～2週間に一度、水抜きをおすすめします。水抜きをおこなわなかった場合は、使用頻度にもよりますが、加熱中や加熱後に庫内奥面の過熱水蒸気吹き出し口から、水(無色、または白色)が出てくる場合があります。